



とことん



<http://www.hint.or.jp/~kamijima-ohsaki/>

新年御挨拶

新年明けましておめでとうございます。令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は商工会事業に温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

年始早々、能登半島にて、震度7の大きな地震が発生しました。被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い平穏な日々が戻ることを、お祈りいたします。

本年辰年は十二支の中で最も縁起の良い干支とされており、運気が上昇して夢が叶いやすい年と言われています。ぜひ、皆さんと一緒にあやかりたいと思います。

さて、我々事業を取り巻く環境は、ポストコロナ時代に向けて、新たな節目を迎えています。

地元の中小企業・小規模事業者においては、人手不足や市場の縮小、物価・資源価格の高騰、さらには賃上げ圧力の中、適切な価格転嫁に苦慮しているなど、依然として厳しい経営環境に置かれています。加えて多発する自然災害に備えたりリスクマネジメント、さらには、インボイス制度や電子帳簿保存法への対応、DX・デジタル化の推進、事業承継問題等々、課題が山積みしております。

こうした環境下において、中小企業、小規模事業者が希望をもって挑戦、成長できるよう、伴走型で支援する商工会の体制強化が大変重要となります。我々は、今後も地域に最も近い経済団体として『きめ細やかな経営支援サービスの充実』を図ることが、活動の原点であることを今一度再確認し、「会員あつての商工会」を念頭に、事業者に寄り添った伴走型支援を推進し、事業者の持続的発展を目指し、活動してまいります。

また、商工会は単なるビジネスの場ではありません。私たちは一つの大きな家族のような存在であり、互いに助け合い、共に成長していくことが大切です。

共に困難を乗り越え、事業に向けて同じ絆を持ち続け、困難の時こそ、叡智と結束力を発揮し、新たな可能性を見出していきましょう。

どうか、引き続き商工会活動に対し、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が会員の皆様にとって大きな飛躍、発展の年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和6年 元旦
大崎上島町商工会 会長 小川裕壮

● 陳情書

12月27日（水）、令和6年度の商工会に対する補助金の要望書を提出しました。当日は小川裕壮会長と森下・信谷両副会長が大崎上島町役場を訪れ、谷川正芳町長へ要望書を手渡しました。

